

全日本ダートトライアル第2戦

好調北村和浩選手 (CMSC岐阜) 今季初優勝!!



CMSC岐阜
北村和浩

全日本ダートラ第2戦優勝記

'95全日本ダートラ第2戦「スズキカップ'95SSCCダートトライアル」がワンデー開催の4月23日栃木県黒磯市「丸和オートランド那須」で行われました。毎回激戦が繰り広げられるAIVクラスにランサーエボIIIで参戦している私ですが、今季第1戦では失格という納得のいかない結果に終わってしまいました。この第2戦には、今季は7戦しか



第1戦の屈辱をバネに勝利

ないつもりで気持ちを切り替えて臨みました。「丸和オートランド那須」のワンデー開催は'94シリーズ第5戦以来です。その大会では優勝しており、私にとっては得意のコースといえます。ただし天気の方は春の変わりやすい空模様で、曇りから時々激しい雨に見舞われました。それでも第1トライはドライで若干湿った程度のコンディ

ョンでしたが、第2トライはあちこちに水たまりができて、始めからタイムは諦める展開となりました。私は最終でスタート。同じCMSC岐阜の楢田選手のタイムを見て「これならイケル」と飛ばし、ベストタイムを叩いて今季初優勝を決めることができました。今回は第1戦の屈辱をバネに頑張りと、その甲斐がありました。今後も頑張ります。

CMSC埼玉
田口幸宏

CMSC埼玉に入会して

昨年、東京から埼玉に引っ越したのを機にCMSC埼玉に入会させていただきました。三菱車に乗りラリーに参戦するものにとって、CMSCに入会する事は一種の憧れのように感じていましたが、事務局の方々の御協力により入会することができました。

ところで私は全日本ラリーBクラスにミラージュで参戦しております。成績は一昨年3位、昨年2位と一歩づつステップアップして来ましたが、

念願のチャンプを目指して

残念ながらチャンピオンには手が届かずにいました。'95年度はどうしてもチャンピオンをとらなければいけない年と感じており、念願のチャンピオン獲得に向け新たな気持ちで、またいい意味でのプレッシャーを自分にかけてラリーに打ち込んでいきたいと思っております。お陰様で第1戦DCCSウインターラリー優勝、第3戦ACKスプリングラリー4位と、春先苦手な私にとってはまあまあのス



タートを切ることができました。自分の好きな夏に向かって調子を上げ、チャンピオン獲得に全力で向かっていきたいと思っています。新参者ですが今後ともよろしくお願いたします。

CMSC道北 村元秀実

全日本ラリー第4戦参戦記

5月27、28日群馬県で開催された全日本ラリー第4戦「モントレー'95」にエントリーしました。マイベックに乗り初めての道外ラリーに参加し、また今回はSS区間がなくハイアベレージ含むラリー区間のみの設定で、私にとって初めての事に戸惑いがありました。しかし同じCMSC道北の鎌田選手や栗沢選手、帯広の小林選手が出場されていたことや、ラリーアートの須賀さんより励ましをうけ気持ちが和みました。

初めてづくしのラリー参加

した。主催者のラリーに対する気持ちが感じられ、オフィシャルの方も皆、手を振って応援して下さいとてうれしく思いました。またギャラリーの多さにも驚きました。

結果の方は車にうまく乗りきれず9位に終わりました。上位の選手との力の差を感じ、旭川に帰ってからは日夜練習に励んでいます。次の全日本戦ノースアタックは地元ということもあり上位入賞を狙ってきます。童顔で若く見られますが本誌にも何度かお目見えしている老け顔の栗沢傑と同年齢の26歳です。ラリー会場で顔を合わせた時は気軽に声をかけてください。よろしくお祈りします。



CMSC群馬 5月7日

CMSCトライアル in 那須

今回のCMSCトライアルin那須は、今までのCMSC群馬のイベントからは想像もつかない、まれにみる快晴でした。「きっと午後からは雨だよ」と言っていたオフィシャルもいましたが、チーム員の日頃の行いがよかったのでしょうか？最後まで一滴の雨も降ることなく終わることができました。

毎回豪華なメンバーによるコースクリアが話題となるCMSCトライアルin那須ですが、今年はなんと全日本AⅣの荒井選手、CⅢの登坂選手、Dの大井選手がそれぞれ本番車を持ち込むというすごいコースクリアとなりました。その走りはあまりにすごくて、驚異でさえありました。そのせいか競技の方は転倒車が3台も出てしまい、レスキュー隊は大忙しでした。今回のトライアルには、

会場沸かせたオートマ車参戦



AⅢクラスにFTOのオートマチック車で出場したエントラントもいて、会場を大いに沸かせました。しかも6位に入賞し特別賞も授与されました。モータースポーツはこういう車ではダメなど、敷居が高いと感じている方も多いと思いますが、まずは自分の好きな車、持っている車で楽しむことから始めるのだということ気づかせてくれました。

今回はゴールデンウィーク最後の日ということでエントリー台数101台と少なくやや寂しい感はありましたが、エントラントの方々は連休最後の日をとて楽しく過ごせたことと思います。来年も、もっともっと楽しいイベントを開催できるよう努力していきたいと



写真上、左より古内選手、荒井会長、大井選手の走り
写真下、左より三菱賞2位塩谷選手、1位水村選手、3位佐藤選手

思いますのでよろしくお願いいたします。エントラント、オフィシャルの皆さんお疲れさまでした。

(CMSC群馬 細村謙一)

CMSC栃木 5月21日

'95スリーダイヤモンドジムカーナ

我がCMSC栃木が主催して10年近くとなり、すっかり栃木県モータースポーツ界の年中行事となった「スリーダイヤモンドジムカーナ」が、今年も栃木シリーズ第2戦として日光スピードパークにおいて開催されました。県内の常連エントラントはもちろんのこと近県からの参加もあり、台数こそ78と少なかったのですがこれは同日にミドルクラスのイベントが開催された為と思われ、かえてシリーズ戦としてのポイント獲得争いに影響を与えるおもしろい一戦として位置付けることができました。

今回の特徴の一つとしてNクラスの参加者の増加があげられます。急遽クラス表彰のカップを購入し直すなどの嬉しい誤算もありました。このことは近年減少しつつあったモータースポーツ人口の回復傾向とも考えています。またこのクラスは各メーカー

モータースポーツ人口回復か？



車両の競技車両素材としてのポテンシャルの高さが試される場でもあり、見逃せないものでした。なかでもランサーエボⅢの走りは熱い視線を浴びていました。

今回のコース設定は高速からのフルブレーキング、そして8の字ターン、360度ターンと、走ってもまたギャラリーとしても十分楽しめるものでした。結果はランサーの圧勝となり、当クラブの特別賞である「三菱賞」もAⅢの1、2位、AⅡの1位のエントラントの手に渡されました。この嬉しい結果に疲れもいやされるオフィシャル一同でありました。ご支援ありがとうございました。(CMSC栃木 郡司 義光)



写真下、左よりAⅢ1位石井選手、2位船野選手、3位中川選手